

嶋満神社便り

平成二十六年九月号（第十三号）
発行 嶋満神社奉賛会

本年度例祭無事終了

例年になく天候不順な夏も終わりを告げ、季節の移ろいを感じるこの頃です。今年は水害や土石流など各地で大きな被害が出ており、心痛むとともに、一日も早く被災された皆さんが元の生活に戻れるよう祈るばかりです。

幸い当浮島地域では被害はありませんでしたが、昨年九月の台風十八号による浸水被害は記憶に新しいところです。気を緩めずに災害に備えたいものです。

遠く鎌倉時代の元寇の際には全国の寺社に「敵国降伏祈願」の祈禱の要請がなされ、当社でも祈願が行われたという言い伝えもあります。しかし災害に対しては祈るだけではなく、自ら備え、積極的に行動することも大事ではないでしょうか？

皆様にはもうお気づきの方もおられると思いますが、当社参道登り口横、浮島会倉庫との間には町内会で立派な「防災倉庫」も据えられています。災害に備え、土のう袋、スコップ、毛布などが毎年少しづつ蓄えられています。また訓練の際に必要なシートやバケツ、プラカードなどもあるようです。

我が八幡さんは浮島の平和のための心のよりどころとしてだけでなく、防災拠点としても存在価値を発揮しています。皆様もお参りの際、鳥居から少し左横の方へ目を向けられ、防災についても考えを巡らせていただければと思います。

さていつもながら前置きが長くなりました

が、去る八月二十四日（日）、嶋満神社の例祭が恒例「浮島夏の夜祭」と併せて行なわれました。当日は小雨が降っては止む、思わしくない天候でしたが、たくさんの町内会員さんにお参りをいただき、山上は一年に一度の賑わいを取り戻しました。

皆様にはたくさんのお供えをいただき、また町内会、浮島商店会の役員さん方とともに奉賛会会員さん方にも雨の中、甲斐甲斐しくお接待をしていただき、誠にありがとうございました。お陰様で町内の方々にも安心してお参りいただき、お祭りの雰囲気を楽しんでいただけたいと思います。

浮島会防災倉庫



例祭が終わり、当社の小山も静かな日常に戻りましたが、十月の白絲濱神社子供みこし、十一月の防災訓練と、山下の倉庫周辺は再びあわただしくなってきました。いろんな用事で倉庫へ来られる方も多いと思いますが、その際はぜひ、行事の成功を祈って山上の拝殿へも足を運んでいただければと思います。

お正月以来、野良猫の糞に悩まされておりましたが、継続的な薬剤散布により、食べ残しを与える浮浪者も共々に姿を見せなくなり、気持ちよくお参りできるようになりました。ご報告まで。